

市政

復興情報

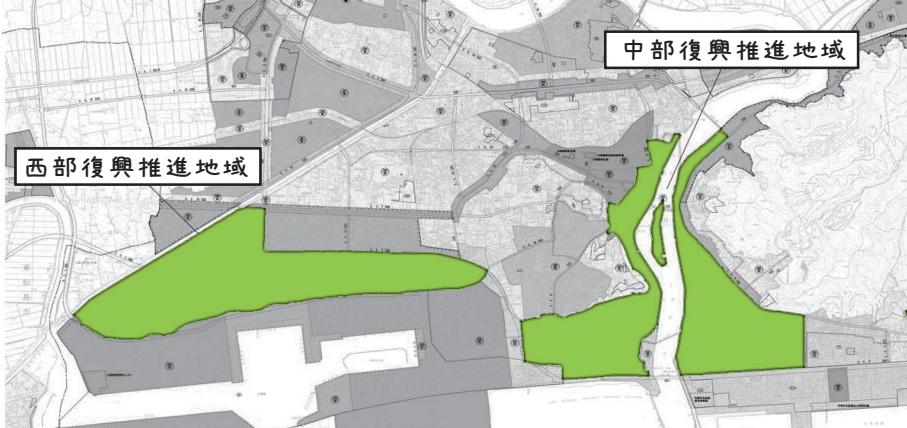


石巻虹色交差点

単色刷りが、虹色に見えちゃっ!
石巻虹色交差点は、石巻市の震災支援
関連情報、生活情報、お役立ち情報をお届けする「つながる情報かわら版」です。

発行:石巻虹色交差点編集チーム
NPO法人アプカス
NPO法人いしのまき環境ネット
連絡先: n.kosat@gmail.com

市が復興向け「復興推進地域」を指定



地域住民の意思表示と意見集約の機会も増加か

市街地復興推進地域一覧

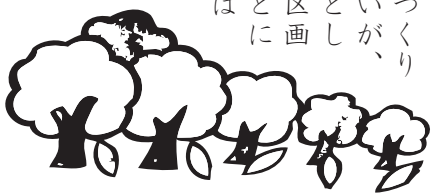
- 門脇字下鷲塚 門脇字中島 中屋敷二丁目 新館一丁目 新館二丁目 中浦二丁目 三ツ股三丁目 三ツ股四丁目 築山三丁目 築山四丁目 大街道南三丁目の各全部 双葉町 門脇字明神 門脇字捨喰 門脇字浦屋敷 門脇字鷲塚 中屋敷一丁目 新館三丁目 中浦一丁目 三ツ股二丁目 築山一丁目 築山二丁目 大街道東二丁目 大街道東三丁目 大街道南二丁目 大街道南四丁目 重吉町 三河町 中島町 南光町二丁目の各一部

石巻市は9月12日、東日本大震災の津波で大きな被害が出た市街地の一部を、「復興推進地域」に指定した。震災発生から2年となる2013年3月10日までの約1年半の間、地域内での建築や土地取引を制限できる。

特措法は災害を受けた市街地での計画的なまちづくりを進めるため、阪神大震災を機に制定された。東日本大震災での復興推進地域の指定は初めてで、市が地域内で進める復興事業は国の補助金が手厚くなり、優遇される。

石巻市の具体的なまちづくり計画はまだ確定していないが、今後市民の意見を聴くなどして、復興推進地域内での区画整理事業や再開発事業などに取り組む方針。対象地域は、西部、中部、東部の3区域に分かれ、広さは約449ヘクタール(地図は中部と西部のみ掲載)

(共同通信社)



解説

復興推進地域になると何が変わる?

生活情報

家は建てられるが



「復興推進地域」
○期間: 新たな制限への移行日、もしくは2013年3月10日まで

○これまでとの違い:
知事の許可を得れば、地域内で新築、増築ができる。

① 家の材料、広さ等については、木造、鉄骨、コンクリート造り

② 2階建て以下

③ 敷地が300平方メートル(およそ90坪)未満

④ 地下建設は不可

○留意点:
許可の条件に「容易に移転し、又は除却することができる」という項目があることから、今後の区画整理等により建築物の移転を要求されることがある。そのため、新増築の際は、自治体とのしつかりとした事前調整が必要である。

区画整理や道路の整備も

今後、復興推進地域の住民から意見を聞く機会を設けるとしながらも、具体的な日程はまだ未定とのことである。

また、復興推進地域に該当する地域では、仮設住宅に入居している住民も多いことから、所在の確認や意見の集約などに多くの時間が必要となる。

なお、市は建築許可の権限を市に移すよう求めており、県は10月中旬に移譲手続きを完了させたいとしている。

建築許可申請に必要な手続き等に関しては、市役所にご確認下さい。

【問い合わせ】
石巻市役所建設部基盤整備課
95-1111
(内線5612・5613)

ニュースヘッドライン

○立町 仮設商店街を12月に開設 9/21
石巻商工会議所が立町にプレハブ21店舗を設置し、店舗を失った事業者に無料で貸し出す。設置期間は2年。買い物をする場が減った消費者ニーズにも応える (石巻かほく)

○市 10月中旬までに避難所閉鎖へ 9/17
市は、10月11日をめどに避難所を閉鎖する方針を明けらかにし、市長は「遠隔地の仮設住宅に入ってもらうため丁寧な説明をすると同時に、足を確保する」とコメント (石巻かほく)

○石巻で初 仮設団地に自治会 9/19
仮設渡波第一団地で18日、自治会が発足した。住民同士の交流を深めることで孤立を防ぎ、住みよい地域づくりを進めるのが目的 (石巻日日新聞)

○石巻日日の壁新聞へ「特別褒賞」 9/21
国際新聞編集者協会は、被災直後、手書きで新聞を発行し続けた石巻日日新聞に「特別褒賞」を授与すると発表。25日台北で授賞式が開催 (読売新聞)



医療・健康情報

『市立病院 移転新築へ』

石巻市は20日、市立病院を現地復旧せず移転新築する方針を固めた。仮設病院を建てずに本建設の場所を選んで5年以内の開院を目指す考え。

再建するまで、石巻赤十字病院に市立病院の看護師らを派遣して雇用を確保していく。病院局は近く専門院会を立ち上げ、本年度内には建設予定地を含めたおおよそのスケジュール案を示す見通し。

再建案では短期対応に病院スタッフの雇用確保を掲げた。看護師123人、技師25人は市職員の身分で石巻赤十字病院が年度内に建設する仮設病棟に派遣するほか、仮設住宅の巡回診療などを担ってもらう。

中・長期的には医療復興をテーマに市立病院は1・5次救急、亜急性期、回復期リハビリ、在宅支援などに取り組む。石巻赤十字病院は2―3次救急、専門医療を有しているため、連携を図ることで急性期から慢性期、在宅まで幅広い医療サービスが提供できる。

(石巻日日新聞)

市民活動情報



『仮設住宅の住環境改善』

NPO法人アプカスなど(気仙沼市本吉)

「住めば都」と言いますが、「寒い、狭い、音が漏れる」と何かと不自由が多く、住み続けて行くにはお世辞にも快適とは言えない住まいこそが「仮設住宅」。

NPO法人アプカスは、宮城県気仙沼市本吉町内の13カ所の仮設住宅地に暮らす495世帯を対象に、建築の専門家やボランティアと共同で、近くのホームセンターでも購入可能な手近で廉価な材料を利用し、仮設住宅の断熱、結露対策、遮音対策、グリーンカーテンなどの導入を行い、仮設住宅に暮らす皆様の「住まい」を少しでも快適なものにするべく活動を行っています。

特にこれから、東北は寒い季節を迎えます。東北の厳しい冬を越すには、あまりにも頼りない住宅も多く見られる中、いち早い対策が望まれます。



ボランティアと居住者の協働作業も?!



再オープン情報

『大もりや』



石巻駅前で親しまれてきた「大もりや」さんが再オープンし、間もなく3カ月を迎えます。場所は旧マメヤさんの水色の建物で、駅を出るとバスプールの左奥に見えます。現在は食堂のみの営業でそば、うどん、丼ものなどの和食メニューが充実しています。3階建てだった旧店舗は解体を終え現在は更地になっていますが、街づくりの方針に合わせ、来年の新店舗着工を目指しています。

「大もりや」と言えば季節の食材を活かした会席料理をイメージされる方が多いのでは!? それに応えてくださるかのよう店内奥を20~30人に対応できるテーブル席に改装中で、忘新年会シーズンまでには開店の見込みです。さらに、新しい石巻ならではのどんぶり物を料理店組合で企画中です。どうぞお楽しみに。

【営業時間】11:30~15:00(不定休)

【問い合わせ】22-4117



行政・窓口情報

立ち役

『石巻市役所 女性のための面接相談(無料、予約制)』

イライラがひどい、何もする気になれない、人に会いたくない、家族の中で口論が絶えない、夫の暴力、アルコール依存の問題など、震災後の心身の不調、家族、人間関係、暴力(DV)問題にカウンセラーが応じます。

担当カウンセラー: 田口 京子先生

(日本フェミニストカウンセリング学会認定カウンセラー)

カウンセリング日時: 毎月第1・第3水曜 11:00~17:00

場所: 市役所2階 相談室

予約受付: 平日 午前9時~午後5時

【申込・問合せ】市民協働推進課 95-1111(内線4236)

『不動の湯、絆の湯 日曜日の営業時間変更のお知らせ』

石巻災害復興支援協議会

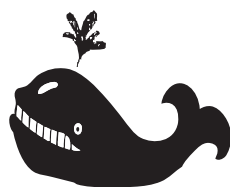
石巻市の不動の湯(市民会館)、絆の湯(本間屋パーキング)の仮設風呂の入浴可能時間について、日曜日のみ時間変更となります。

新たな営業時間 月曜~土曜: 16:00~21:00

日曜: 13:00~19:00

※ストレス便秘には、神門のツボを押そう!

腸は、ストレスと密接なつながりがあります。便秘で、しかもストレスを感じているなら、手首の横ジワの上の「小指側のくぼみ」を押して和らげましょう。ここは「神門」というツボで、温めても効果があるので、ドライヤーで温風を当てるとよいでしょう。ドライヤーで温めると、お灸と同じ効果が得られるといわれています。やけどしないように注意しながら、やってみましょう。



健康ワンポイント

※旬のブドウを食べて、肝と腎を潤そう!

ブドウは、東洋医学的に「のどの渇き」を緩和し、イライラを解消させる働きがあるとされています。また「肝と腎を潤して養う」という性質があり、ブドウに含まれる「ブドウ糖」はすばやくエネルギーに変えられ、疲労回復に効果があるとされています。また、ビタミンPという活性物質が「胃酸」を抑制する効能もあります。旬を迎えているブドウ。どんどん食べましょう。